



信太 和子
(大河・生々・)
みどりの会連合

住吉町住宅建てかえ

質問 高齢化が著しい能代市で、中心市街地に鉄筋コンクリート高層団地建築ではなく、まちづくりの視点で、建てかえを再検討するべきでは。定住人口の増加やにぎわい創出が、なぜ現在の狭い住吉町敷地内に限定しての150戸につながるのか。

答弁 中心市街地の活性化を図るには街へ人を誘導することが必要で、その方法の一つとして、中心市街地の定住人口をできるだけふやすことが挙げられる。公営住宅整備事業は、定住人口をふやすため地方自治体が単独で直接取り組める数少ない事業であることから今後の市営住宅建てかえは、中心市街地の定住人口の増加に貢献できるよう進めていく必要がある。また、用地や現有戸数以上の建設に関しては、確実に建てかえ事業を進めるため、できるだけ市有地の活用が先決と考え、住宅を分散して配置することなく現在地に150戸程度の建設を目標に考えている。

能代市職員互助会の積立金清算

積立金清算

質問 能代市役所関係職員互助会は、解散に当たり、積立額1億4647万1千円を、市職員等に分配した。うち3487万4千円は能代市が公費負担したものだ。住民が納得する方法は早期返還である。早急に、善処が必要では。住民への説明も必要では。

答弁 合併前の旧能代市では、能代市役所関係職員互助会を組織して、職員の健康維持増進のためのスポーツ施設利用助成、慶弔給付事業などの福利厚生事業を行い、事業の財源として、給料月額額の1000分の16の掛金と1000分の5の市等からの交付金等を充てていた。積立金の清算は、互助会が平成15年度までに積み立てていた1億4647万1千円を会員697人に支給したもので、支給額の一部に旧能代市等から交付された公費が含まれていると判断し、公費相当分について精査しながら返還を求める方向で検討している。また、この件については、広報等で報告していきたい。

信太議員のその他の質問事項

- 能代産業廃棄物処理センター
- イオンの郊外型大型店の出店
- 要保護児童対策地域協議会



飯坂 誠悦
(創風会)

環境首都コンテストへの対応

質問 旧二ツ井町はLAS-Eに沿って独自の環境マネジメントシステムを構築してきたが、このシステムを能代市においても拡大・再構築することは、環境首都を目指し環境首都コンテストに応募することも考えられるがどうか。

答弁 新市建設計画において、積極的に環境のまちづくりを進め、合併10年後には日本の環境首都を目指して取り組むとともに、人と環境にやさしい施策の推進や循環型社会を構築し、環境への負荷を軽減する仕組みとして環境管理システムをつくることとしている。環境マネジメントシステムを拡大・再構築して、来年度からは新市で取り組むこととしたものであり、環境首都コンテストにも引き続き新市として応募しており、市の環境政策のレベルが国内での位置にあるかを把握するとともに、結果を今後の環境政策の推進に

生かしていきたい。

資源循環とごみの適正処理

質問 生活や事業活動に伴い排出される廃棄物の量は、増大の一途をたどっている。これを適正処理することが資源循環の前提であるが、リサイクルをより効率化するため、ごみの分別を細分化する必要があると思うが、分別細分化への対応はいかに。

答弁 旧能代市では、資源ごみ品の固定から一定年数を経過し、市民に環境意識が浸透したことで、分別が定着しつつある状況を踏まえ、さらなる減量化・再資源化を図る観点から、容器リサイクル法に基づき、平成19年度中を目標にプラスチック製容器包装の分別収集に取り組みることとしていたが、合併によるごみ収集方式の統一を機会ととらえ、新市として20年4月の分別収集開始を目指している。このため、遅くとも19年10月にはモデル地区収集を先行的に実施し、本格運用までの間、課題等を検証しながら、実態に即した収集体制の構築を図りたい。

飯坂議員のその他の質問事項

- 能代港の利活用について
- いじめ問題について